

令和5年度（2023年度）

熊本県環境センター事業実績報告書



熊本県環境センター

ごあいさつ

令和5年度（2023年度）は、ようやく新型コロナウイルスによる混乱も収まりを見せ、社会経済活動の活性化を目指し、全国的に活気が戻ってきた1年でもありました。環境センターでも、昨年に引き続き、県内の公立小学5年生全員を対象とした「水俣に学ぶ肥後っ子教室事業」を来館による学習にて行うことができました。

また、令和6年（2024年）2月には菊陽町で世界最大の半導体受託製造企業である台湾積体回路製造（TSMC）が出資するJASM株式会社が開所式を迎え、今後、本県における半導体産業の更なる集積や新産業の創出等の波及効果などから県下全域の経済の成長に結びついていくことが期待されています。

さて、熊本県環境センターは、水俣病の教訓を活かしながら学び、考えるための施設として、平成5年（1993年）8月に水俣市に開館し、今年、開館30周年を迎えました。30年の歴史の中で、令和5年度（2023年度）末で93万人を超える人々に来館いただきました。当センターでは、ごみ問題や水問題などの地域問題から地球全体に至る様々な規模で起きている環境問題や、自然との共生や調和のあり方などについて、持続可能な環境教育の理念（ESD）のもと、「学ぶ」「感じる」「体験する」をキーワードに、様々な事業を進めています。また、職員や専門家等が地域や学校を訪問する出前講座、川辺や干潟での体験学習など、開館以来、多くの皆様にご活用いただいています。

館内には、「環境シアター」「学習ルーム」「会議室」「情報プラザ」及び「エコ・ステージ」等の施設があり、環境に関する情報を提供しています。「エコ・ステージ」は、喫緊の課題である「地球温暖化」に関する内容が充実しています。具体的な現象を身近に感じてもらう内容になっています。国内では初めての試みとされています大画面のスクリーンを使った気候変動シミュレーション、地球温暖化で起こるスーパー台風や急激な海面上昇から熊本を守る環境行動をゲーム感覚で学ぶコーナーなどがあります。このまま温暖化が続くと100年後の熊本及び地球がどうになってしまうのか、子どもから大人まで幅広く楽しみながら学べるよう工夫を凝らした施設となっています。多くの方々に環境センターへ足を運んでいただき、様々な環境問題を学んでいただくことを期待しています。

この事業実績報告書は、令和5年度（2023年度）における熊本県環境センターの活動の状況を県民の皆様にご理解いただくためにまとめたものです。

今後とも、熊本県環境センターを県民の皆様によくご利用いただき、持続可能な社会づくりの一環として、環境にやさしい行動の輪が県内外に広がっていくことを念願しています。



熊本県環境センター
館長 篠原 亮太

目次

I 熊本県環境センターの事業概要

1	熊本県環境センターの目的	2
2	事業体系	2
3	環境情報提供・学習のための施設	3
4	組織体制	3
5	コロナ禍における利用者増に向けた主な取組	3

II 令和5年度事業概要

1	各事業一覧	4
2	各事業の概要	6
(1)	環境学習事業	6
(2)	出前講座事業	10
(3)	県北環境教育推進事業	15
	コラム「水俣に学ぶ肥後っ子教室」	15
(4)	環境保全意識向上事業	16
(5)	施設維持運営事業	19
	○ 企画展示・常設展示	19
	○ 情報プラザの運営	22
	○ 来館者への対応	22
	○ 来館者数	23
	ア 月別来館者数（全数（受付記帳及び未記帳の合計人数））	23
	イ 年度別来館者数（全数（受付記帳及び未記帳の合計人数））	23
	ウ 居住別来館者数（受付記帳の人数）	24
	エ 地域別来館者数（受付記帳の人数）	24
	オ 団体利用状況（受付記帳の人数）	25
	カ 小学校団体利用状況（受付記帳の人数）	26
	○ 季刊誌「エコタイムズ」の発行	27

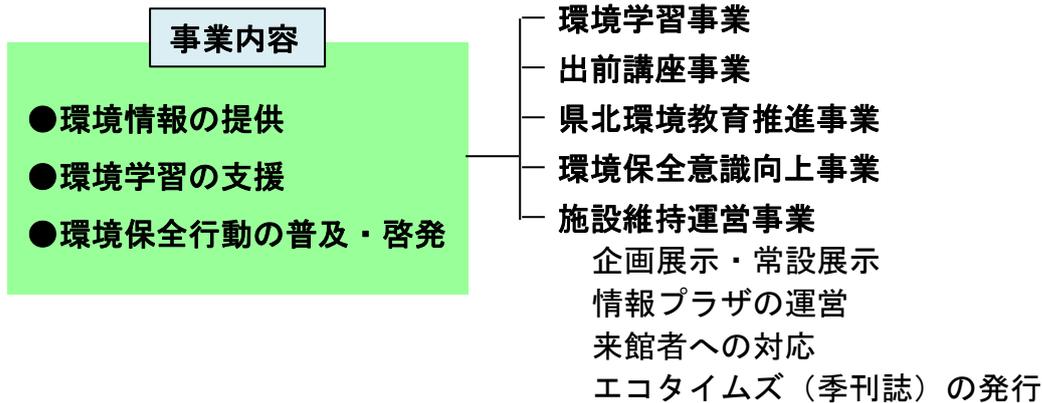
I 熊本県環境センターの事業概要

1 熊本県環境センター設置の目的

熊本県環境センターは、地球にやさしい行動を促すための環境情報・学習の拠点施設として、環境問題について正しい理解と認識を深め、快適な環境の保全・創造に関する意識の高揚を図ることを目的に、平成5年、水俣市に設置されました。

2 事業体系

(1) 体系図



(2) 各事業の内容

環境学習事業

環境問題に対する関心を高めるため、制作体験や自然観察などのイベントを実施する事業です。

出前講座事業

小・中学校、公民館、その他の団体の要請に応じて環境センターの環境指導員や環境センターに登録された指導者（登録者：51名）を県内各地に派遣し、環境学習（出前講座）を実施する事業です。

また、それぞれの地域で環境にやさしい行動や取組を推進するエコロジスト・リーダーを養成するため、講座を開催するとともに、養成したエコロジスト・リーダーが県内各地に出向き、自然体験・伝統文化など、楽しみながら学ぶ場の提供を行います。

県北環境教育推進事業

県北の地域資源を活かしながら環境教育を実施することで、地域活性化を図る事業です。

環境保全意識向上事業

「環境絵画コンクール」やこどもエコクラブの活動支援を実施し、子どもたちの環境保全意識の向上を図ることで、来館学習の効果を一層高める事業です。

施設維持運営事業

来館者に対する啓発を目的とした館内企画展示、施設案内、環境学習や情報プラザでの図書や映像資料の管理・貸出を行う事業です。その他、イベントや環境に関する情報提供のため、季刊誌「エコタイムズ」を年2回発行しています。

※各事業は、熊本県水俣・芦北地域振興計画に位置付けられています。

3 環境情報提供・学習のための施設

- 情報プラザ：環境に関する図書約11,500冊のほか、映像資料約600本等を所蔵しており、館内閲覧及び視聴ができ、一部を除いて館外貸出も行っていきます。
- 展示室：「エコ・ステージ～地球の未来～」は、11mの大型スクリーンで将来の地球を映し出す「地球温暖化による気候変動シミュレーション」、周囲210°のマルチスクリーンを使った体験型の展示「地球温暖化体験」など、多くの方々が学習できる展示となっています。
- 環境シアター：環境学習の会場として使用しているほか、様々な団体への貸し出し（有料）も行っていきます。
- 会議室：環境学習を行うほか、様々な団体の会議や研修場所として貸し出し（有料）も行っていきます。
- 学習ルーム：環境学習や制作体験の会場として使用しています。
- 展望室：リ・グラスアートや万華鏡等の作品をリサイクルギャラリーとして展示しているほか、熊本県のジオラマを展示しています。
- こどもエコカフェ：こどもエコクラブ熊本県事務局として、ニュースレターや各クラブの取組を掲示し、応募用紙を設置してメンバー募集をしています。
- 生け垣迷路：生け垣で作られた迷路の分岐点に環境に関するクイズを設置しており、遊びながら楽しく環境について学ぶことができます。



情報プラザ



展示室(エコ・ステージ)



環境シアター



展望室



生け垣迷路

4 組織体制

館長 所長 参事（2） 主任技師（1） 環境指導員（6）
情報プラザ運営員（1） 環境教育地域連携推進員（1）
※（ ）の数字は人数

II 令和5年度事業概要

1 各事業一覧

(事業ごと・実施日順)

開催日	行事名	場所	参加人数
	《環境学習事業》		
5/3	作って飛ばそう！ペットボトルロケット	環境センター	38人
6/11	グリーンカーテンを作ろう！	環境センター	36人
7/22	SUP～海を感じて地球（ふるさと）を想う～	湯の児海水浴場（水俣市）	33人
7/29	夏の磯のいきもの観察会	環境センター	35人
8/11	人形劇	環境センター	69人
9/2	地引き網体験	熊本県立あしきた青少年の家（芦北町）	104人
10/15	星空観察と音楽の夕べ	環境センター	58人
10/28	干潟観察会	熊本港干潟周辺（熊本市）	27人
11/26	まつぼっくりでクリスマスツリーを作ろう！	環境センター	18人
12/10	エコライフ体験教室	宇城中央公民館（宇城市）	19人
12/16	ミニ門松づくり	環境センター	26人
1/20～	海辺の自然体験教室	熊本県立あしきた青少年の家（芦北町）	16人
1/21			
3/2	開館30周年記念企画 「リ・グラスアートを作ろう！」	環境センター	72人
3/21	春のこどもまつり	環境センター	772人
	《出前講座事業》		
年間77回	動く環境教室	県内各地	3,637人
年間36回	環境教育指導者派遣	県内各地	1,687人
9/30～	エコロジスト・リーダー養成講座	熊本県庁	12人
10/1		環境センター	
年間12回	エコロジスト・リーダー派遣	県内各地	773人
	《県北環境教育推進事業》		
8/12	まじゃく釣り体験	エコアくまもと（南関町）他	38人
9/10	お家でできる！防災サバイバル教室	肥後民家村（和水町）	21人
	《環境保全意識向上事業》		
7月～9月	環境絵画コンクール	環境センター	応募者数 2,111人
	《施設維持運営事業》		
毎月	企画展示・常設展示	環境センター	

参加人数計 9,602人

企画展示一覧

(実施日順)

期間	企画展示名
4 / 1 ~ 5 / 7	「春の野の花」写真展
5 / 11 ~ 6 / 11	「湧水・地下水・水辺」写真展
6 / 13 ~ 7 / 30	「海のいきもの」写真展
7 / 19 ~ 9 / 3	「湯前まんが美術館風刺漫画大賞」作品展
10 / 3 ~ 10 / 29	「手作りエコバッグ」展
11 / 25 ~ 12 / 26	「環境絵画コンクール」入賞作品展
12 / 12 ~ 1 / 21	「星空風景」写真展
1 / 25 ~ 2 / 29	「花王国際こども環境絵画コンテスト」作品展
3 / 5 ~ 3 / 31	「こどもエコクラブ壁新聞・絵日記」展

常設展示一覧

期間	常設展示名	展示場所
各展示とも 4 / 1 ~ 3 / 1	「環境センターでこんなことができるよ」 「熊本の水資源保全」 「くまエコショップ水俣店」 「やってみよう！おうちでできること」 「エコライフ宣言」 「ミニ水族館」 「水俣市のごみ分別」	1階ロビー (楽しく学ぼう！ 体験スペース)
	「環境問題パネル」	2階環境シアター前
	「こどもエコクラブの紹介」 「おたよりコーナー」	2階会議室前
	「リサイクルギャラリー」 「熊本県ジオラマ」	2階展望室



太陽光発電



ハイブリッドカー



自然光の採光



LED 照明



モニターを使った映像表示

2 各事業の概要

(1) 環境学習事業

●作って飛ばそう！ペットボトルロケット！

期 日 5月3日（水・祝）

実施場所 環境センター

参加人数 38人

概 要

ペットボトルや牛乳パックをリサイクルして、ロケットを工作しました。天候にも恵まれ、工作したロケットは、環境センター前の芝生広場で飛ばして楽しみました。体験を通してリサイクルや3Rについて考えてもらうことができました。



●グリーンカーテンを作ろう

期 日 6月11日（日）

実施場所 環境センター

参加人数 36人

概 要

環境センターでゴーヤの苗植え体験を実施しました。家庭でも取り組みやすいグリーンカーテン作りを体験してもらうことで、楽しみながらエコライフを実践する方法を学んでもらうことができました。



●SUP ～海を感じて地球（ふるさと）を想う～

期 日 7月22日（土）

実施場所 湯の児海水浴場

参加人数 33人

概 要

大澤基夫氏を講師に招き、SUP（スタンドアップパドルボード）体験を実施しました。

環境学習とビーチクリーン活動を通して、ごみ問題の現状を学んだうえで、SUPをしながら水俣のきれいな海を体感してもらうことができました。



●夏の磯のいきもの観察会

期 日 7月29日（土）

実施場所 環境センター

参加人数 35人

概 要

環境センター近隣の明神海岸でいきもの観察を実施しました。

多くのいきものが生息していることを知ってもらい、水俣の豊かな海を実感してもらうことができました。



●人形劇

期 日 8月11日（金）

実施場所 環境センター

参加人数 69人

概 要

「人形劇ファンタジア」に委託して実施しました。

「まちのねずみといなかのねずみ」と「環境に関する寸劇」を上演し、人形劇を通して子どもたちに自然の大切さや友達を想う優しさを伝えました。



●地引き網体験

期 日 9月2日（土）

実施場所 熊本県立あしきた青少年の家及び
芦北マリンパークビーチ

参加人数 104人

概 要

県立あしきた青少年の家、熊本県不知火地区漁業士会と共催で開催しました。

環境学習を実施した後、地引き網体験を実施しました。多くの魚が網にかかり、参加者には芦北の豊かな海を実感してもらうことができました。



●星空観察と音楽の夕べ

期 日 10月15日（日）

実施場所 環境センター

参加人数 58人

概 要

環境教育指導者の艶島敬昭氏（熊本県民天文台台長）による星空観察会と、当センターの平尾環境教育指導員、河野慶子氏及び南直子氏による音楽の夕べを実施しました。

星空観察では、星座や太陽系のお話の後、土星を天体望遠鏡で観察しました。星空の観察を通して、参加者に大気環境や地球環境について考えてもらうことができました。

また、音楽の夕べは、当日の天候により室内で実施することとなりましたが、普段とは違う雰囲気の中、音楽を聴きながら心豊かに時間を過ごしてもらうことができました。



●干潟どろんこ観察会

期 日 10月28日(土)
実施場所 熊本港干潟周辺
参加人数 27人
概 要

干潟や海の働きについて学ぶため、環境教育指導者の森敬介氏(ひのくにベントス研究所所長)を講師に迎え、開催しました。

干潟にすむ生き物の観察などを行い、参加者は初めて見る生き物に興味を持っていました。



●まつぼっくりでクリスマスツリーを作ろう!

期 日 11月26日(日)
実施場所 環境センター
参加人数 18人
概 要

自然の素材である「まつぼっくり」を使ってクリスマスツリーを制作しました。

制作体験と地球温暖化の学習を通して、自然を身近に感じてもらい、森林の役割について学んでもらうことができました。



●エコライフ体験教室

期 日 12月10日(日)
実施場所 宇城市中央公民館
参加人数 19人
概 要

日常生活で実践できる、環境への負荷を少なくするライフスタイルを学んでいただくことを目的に宇城市で実施しました。

午前中に地元の食材を余すことなく使ったエコクッキング、午後からは廃油を再利用したエコキャンドル作りを行いました。



●ミニ門松を作ろう！

期 日 12月16日（土）
実施場所 環境センター
参加人数 26人
概 要

「エコ村伝承館」に委託して実施しました。
竹などの自然素材を使ったオリジナルの門松制作と地球温暖化の学習を通して、環境を守ることの大切さを伝えました。



●海辺の自然体験教室

期 日 1月20日（土）～21日（日）
実施場所 熊本県立あしきた青少年の家
参加人数 16人
概 要

県立あしきた青少年の家と共催で開催しました。
1日目は、磯観察やネイチャーゲーム、星空観察（環境教育指導者 坂井一郎氏）など、自然と触れ合う体験活動を行いました。
2日目は、ごみ問題に関する環境学習を行った後、バードウォッチング（環境教育指導者 坂梨仁彦氏）や1日目の磯観察時に集めた貝殻などを使ってネイチャークラフトを楽しみました。自然観察の時には落ちているごみにすぐ気づくなど、ごみ問題について考えてもらうよい機会となりました。



●開館30周年記念企画「リ・グラスアートを作ろう！」

期 日 3月2日（土）
実施場所 環境センター
参加人数 72人
概 要

環境センターは、平成5年8月に開館し、30周年を迎えたことから、開館30周年記念企画として「リ・グラスアートを作ろう！」を開催しました。

水俣・芦北地域の美しい海や環境を守る取組みを国内外の幅広い世代に発信するため、「みなまた・あしきたギョギョ大使」に就任した「さかなクン」にも協力いただき、さかなクン原案の環境センターにふさわしい素敵なアートが完成しました。



●春のこどもまつり

期 日 3月20日(水・祝)

実施場所 環境センター

参加人数 772人

概 要

水俣病情報センター及び水俣病資料館と共催で、こどもを対象に、環境について楽しく学ぶ体験活動を実施しました。「リ・グラスアート」や「万華鏡作り」をはじめ、「押し花しおり作り」「磯のいきものタッチプール」などの体験活動を行いました。そのほか、県立装飾古墳館から「勾玉作り」、県立あしきた青少年の家から「ミニ焼杉プレート作り」「モルック体験」、水俣病情報センターから「まなびの丘VRゴーグル体験」、エコ村伝承館から「竹箸作り」の出前講座を併せて行いました。さらに、今年度は水俣高校から18名の学生ボランティアが参加し、活力あるイベントとなりました。

また、子ども向けの「お楽しみ抽選会」を実施し、3D球体パズル(地球儀)などの賞品をプレゼントしました。



(2) 出前講座事業

●動く環境教室

環境センターの環境指導員や職員が県内各地に出向いて環境学習を行う制度（出前講座）で、77回実施しました。（参加者総数 3,637人）

No.	期 日	依 頼 者	実 施 内 容	参加人数
1	5月5日	熊本県立装飾古墳館	化石レプリカ	86人
2	5月25日	熊本市立湖東中学校	万華鏡	13人
3	5月28日	山鹿市立三玉小学校第5学年 学年レクリエーション	リ・ガラスアート	65人
4	6月4日	熊本市立出水中学校	環境講話	295人
5	6月17日	嘉島町立嘉島東小学校第1学年 PTA	リ・ガラスアート	124人
6	6月20日	和水町子育てひろば	UVビーズストラップ	11人
7	7月2日	熊本市立飽田西小学校第2学年	リ・ガラスアート	35人
8	7月21日	代陽児童クラブ	万華鏡	27人
9	7月23日	山江村立山田小学校第4学年	リ・ガラスアート	72人
10	7月25日	竜北東学童保育所	万華鏡	29人
11	7月27日	上天草市中央公民館	リ・ガラスアート	32人
12	7月28日	中央コミュニティ運営委員会	万華鏡	29人
13	7月28日	熊本市立城南図書館	UVビーズストラップ	20人
14	7月28日	NPO 法人 A-life なんかん	UVビーズストラップ	29人
15	7月29日	熊本市秋津児童館	リ・ガラスアート	28人
16	7月30日	くまもと森都心プラザ図書館	UVビーズストラップ	30人
17	8月1日	放課後等デイサービス事業所バナナランド	万華鏡	9人
18	8月1日	球磨村小学校1・2年生	リ・ガラスアート	42人
19	8月2日	熊本県博物館ネットワークセンター	UVビーズストラップ	16人
20	8月2日	ひかりサンガクラブ	リ・ガラスアート	34人
21	8月2日	葦北郡・水俣市教科等研究会中学校理科部会	水生生物調査	10人
22	8月3日	球磨村小学校3・4年生	リ・ガラスアート	25人
23	8月3日	本渡児童センター	UVビーズストラップ	13人
24	8月4日	球磨村小学校5・6年生	リ・ガラスアート	28人
25	8月5日	公益財団法人熊本県環境整備事業団	リ・ガラスアート	12人
26	8月5日	長洲町中央児童館	万華鏡	22人
27	8月8日	ふくろふれあい学童クラブ	UVビーズストラップ	35人
28	8月8日	高田放課後クラブ	UVビーズストラップ	24人

No.	期 日	依 頼 者	実 施 内 容	参加人数
29	8月10日	鏡すくすくスクール	UVビーズストラップ	25人
30	8月10日	龍田まちづくりセンター	万華鏡	12人
31	8月19日	「青少年のための科学の祭典」熊本大会事務局	UVビーズストラップ	196人
32	8月20日	「青少年のための科学の祭典」熊本大会事務局	UVビーズストラップ	208人
33	8月23日	桜ヶ丘児童館	UVビーズストラップ	40人
34	8月24日	人吉乳児保育園わくわく学童クラブ	UVビーズストラップ	42人
35	8月24日	放課後等デイサービス あびりてい	UVビーズストラップ	13人
36	8月27日	水上村立水上学園第3学年	リ・グラスアート	39人
37	8月27日	宇土市下松山子供会	リ・グラスアート	32人
38	9月5日	南関町立南関第二小学校	水生生物調査	21人
39	9月9日	宇土市花園公民館	リ・グラスアート	39人
40	9月14日	水俣市立水俣第一小学校	水生生物調査	111人
41	9月17日	合志市立西合志東小第3学年	リ・グラスアート	138人
42	9月23日	甲佐町役場	UVビーズストラップ	33人
43	10月3日	益城町立益城中央小学校	リ・グラスアート	90人
44	10月7日	宇土市網津地区子供地域活動	化石レプリカ	20人
45	10月8日	熊本市西部児童館	化石レプリカ	15人
46	10月14日	熊本市花園まちづくりセンター	化石レプリカ	13人
47	10月14日	玉名市立玉名町小学校PTA	リ・グラスアート	101人
48	10月14日	水俣市立水俣第二小学校第3学年	リ・グラスアート	38人
49	10月15日	玉名市立鍋小学校5年PTA	リ・グラスアート	22人
50	10月15日	熊本市南部まちづくりセンター	リ・グラスアート	42人
51	10月17日	南関町立南関第四小学校	水生生物調査	22人
52	10月17日	水俣市立袋小学校	水生生物調査	23人
53	10月28日	宇土市轟公民館	リ・グラスアート	21人
54	10月28日	八代市環境施設課（エコエイトやつしろ）	UVビーズストラップ	22人
55	11月4日	天草市立有明小学校第4学年	リ・グラスアート	53人
56	11月4日	玉名市立築山小学校第4学年	リ・グラスアート	151人
57	11月11日	宇土市網田公民館	リ・グラスアート	11人
58	11月12日	御船町立木倉小学校第3学年	UVビーズストラップ	45人
59	11月18日	芦北町立佐敷小学校PTA	リ・グラスアート	53人
60	11月18日	山都町立矢部小学校1年PTA	リ・グラスアート	61人

No.	期 日	依 頼 者	実 施 内 容	参加人数
61	11月19日	熊本市西部交流センター	化石レプリカ	20人
62	11月25日	熊本市立健軍東小学校第4学年	リ・グラスアート	46人
63	11月25日	菊池市中央公民館	万華鏡	44人
64	11月25日	熊本県環境保全協議会	ネイチャーゲーム	120人
65	11月26日	八代市立代陽小学校3年PTA	リ・グラスアート	113人
66	11月30日	芦北町立佐敷小学校放課後子ども教室	万華鏡	21人
67	12月9日	宇土市宇土公民館	リ・グラスアート	29人
68	12月10日	熊本市城南公民館	万華鏡	28人
69	12月12日	熊本県生涯学習推進センター	紙すき	15人
70	1月20日	社会福祉法人和水町社会福祉協議会	UVビーズストラップ	12人
71	1月21日	荒尾市立図書館	万華鏡	10人
72	1月21日	熊本県博物館ネットワークセンター	リ・グラスアート	27人
73	1月27日	熊本県生涯学習推進センター	UVビーズストラップ	127人
74	1月31日	ソーシャルスクエア水前寺	UVビーズストラップ	17人
75	2月17日	放課後等デイサービス「ハグ」	リ・グラスアート	16人
76	3月16日	天草市立本渡北小学校第5学年	リ・グラスアート	25人
77	3月27日	公益社団法人熊本YMCA	UVビーズストラップ	20人

●環境教育指導者派遣

県内で実施される環境学習会や自然観察会などに環境センターが登録した環境の専門家（環境教育指導者）を派遣する制度で、36回派遣しました。（参加者総数 1,687人）

	実施日	派遣指導者	依頼者	派遣内容（演題等）	参加人数
1	4月15日	松本 達也	熊本県博物館ネットワークセンター ミュージアムパートナーズクラブ 貝類調べ隊	干潟と岩礁の生き物を観察しよう	11人
2	6月3日	山下 桂造	子どもの未来を考える会	ホテルについて知ろう！	40人
3	6月23日	川越 保徳	株式会社 ROKI 福岡	熊本の地下水水質について	24人
4	6月26日	市原 啓吉	阿蘇市立阿蘇小学校	春の草原を見てみよう、牛のエサやり体験をしよう	41人
5	7月7日	寺崎 昭典	南小国町立りんどうヶ丘小学校	カントリーコース（りんどうヶ丘小学校）で、虫をさがそう	14人
6	7月15日	松本 達也	熊本県博物館ネットワークセンター ミュージアムパートナーズクラブ 貝類調べ隊	生息する陸貝の種を観察・調査	8人
7	7月30日	稲葉 洋一	熊本市託麻公民館	プラネタリウム in 託麻	25人
8	8月3日	坂井 一郎	認定 NPO 法人とら太の会	宇宙の中に住むわたしたち	100人
9	8月5日	艶島 敬昭	株式会社こうし未来研究所 合志市西合志図書館	夏の星空を「聞いて」「見て」楽しむ！	41人
10	8月6日	高松 安国	清流氷川流水対策協議会	2級河川「氷川」の体験学習会	20人
11	9月8日	神田 みゆき	公益社団法人日本青年会議所 九州地区熊本ブロック協議会 カーボンニュートラル推進会議	カーボンニュートラル事例から未来を考えよう	37人
12	9月10日	坂梨 仁彦	宇城市立図書館	現代の鳥の生態について学んで、とり博士になろう！	14人
13	9月20日	艶島 敬昭	熊本県立熊本支援学校	星の観察会	27人
14	9月22日	神田 みゆき	人吉市立大畑小学校	SDGs 特に環境問題、人権問題について	11人
15	9月23日	中田 裕一	豊野町みどりの少年団	みんなの川の環境調査	25人
16	9月23日	宮原 美智子	甲佐町役場	地球沸騰時代ーゼロカーボンにむけて、私たちにできること	90人
17	9月26日	渡邊 輝樹	荒尾市立緑ヶ丘小学校	みなまたの環境への取り組み	77人
18	10月20日	神田 みゆき	熊本市立画図小学校	江津湖大作戦 ～江津湖と SDGs～	152人
19	10月24日	森 敬介	特定非営利活動法人 植物資源の力	「海の生物図鑑作り」生物調査	43人
20	10月24日	神田 みゆき	専修大学熊本玉名高等学校	環境教育（SDGs）講話	170人
21	10月27日	森 敬介	熊本市河内公民館	海辺の生物調べ	52人
22	10月28日	坂井 一郎	八代市立鏡小学校第4学年 PTA	出張プラネタリウム	104人
23	10月29日	稲葉 洋一	一般社団法人 くまもと デザイン協議会	プラネタリウムによる星空の観察と地球環境を考える会	65人

	実施日	派遣指導者	依頼者	派遣内容（演題等）	参加人数
24	10月29日	松本 達也	くまもと花博実行委員会	カタツムリ探し探検	18人
25	11月13日	渡邊 輝樹	和水町立三加和中学校	金属・プラスチックのリサイクルのしくみ	24人
26	11月16日	神田 みゆき	熊本市立二岡中学校	持続可能な「住生活」を目指して	80人
27	11月17日	坂井 一郎	熊本県立松橋西支援学校	生活単元学習「星について知ろう」	30人
28	12月3日	神田 みゆき	熊本市弓削校区青少年健全育成協議会	カードゲームで学ぶSDGs	35人
29	12月15日	神田 みゆき	熊本市教育委員会教育相談室	生活環境について考えよう	23人
30	12月18日	田北 真美	熊本県立鹿本高等学校	段ボールコンポストについて学ぶ	34人
31	12月21日	小島 徹	熊本森永乳業株式会社	わたしたちのくらしと地下水	16人
32	12月25日	艶島 敬昭	特定非営利活動法人ひとつくりJAPANネットワーク	冬の星空を見上げてみよう	15人
33	1月20日	坂本 真理子	エコ村伝承館	野生動物とプラスチックごみ	15人
34	2月3日	坂梨 仁彦	熊本市動植物園	野鳥の観察会	17人
35	2月7日	神田 みゆき	菊池市立旭志中学校	地球温暖化の緩和策と適応策について	37人
36	3月15日	神田 みゆき	熊本市立西里小学校	「SDGs って何だ」その取組に学ぼう！	39人

●エコロジスト・リーダー養成講座

期 日 9月30日（土）～10月1日（日）（2日間）

実施場所 9月30日（土） 熊本県庁
10月1日（日） 熊本県環境センター

参加人数 12人

概 要

環境問題を体系化された正確な知識として把握し、地域の環境問題や市町村の取組を支援できるリーダー的人材を育成することを目的に、開催しました。

1日目は、環境教育指導者の神田みゆき氏を講師に招き、地球温暖化についての講話や当館館長による水俣病に関する講義を行いました。2日目は、環境センターで行っている学習内容に関する講義と自然とふれあう体験（ネイチャーゲーム）を行いました。

講座を2日間受講していただいた方には修了証書を授与し、地域の環境に関するリーダーとして活躍していただくため「エコロジスト・リーダー」に登録していただきました。



●エコロジスト・リーダー派遣制度

当センターが例年実施している「エコロジスト・リーダー養成講座」を修了した方々（エコロジスト・リーダー）を県内各地に派遣する制度で、エコロジスト・リーダーで設立した団体「エコ村伝承館」に委託して実施しました。（派遣：12回、参加総数：773人）

No.	期 日	依 頼 者	実 施 内 容	参加人数	派 遣 リーダ ー数
1	6月10日	古保山子供会	竹箸を作ろう	23人	5人
2	7月26日	室小学校内学童保育クラブ	水でっぼうづくり体験	37人	7人
3	7月26日	あゆみキッズクラブ放課後児童クラブ	水でっぼうづくり体験	37人	7人
4	7月27日	そらいろ学童クラブ	ブンブンセミづくり体験	45人	3人
5	7月30日	熊本市立託麻原小学校PTA	エコなおもちゃを作って遊ぼう！（水でっぼう、ブンブンセミ、UVビーズストラップづくり）	53人	6人
6	8月19日	楡木子ども地域食堂 なごみ	環境を学ぼう（ブンブンセミ、UVビーズストラップづくり）	32人	6人
7	8月20日	ひのくにスマイル食堂	環境を学ぼう（ブンブンセミ、UVビーズストラップづくり）	107人	6人
8	8月21日	白川グループ 白川保育園学童	ものづくり体験（水でっぼうづくり）	87人	5人
9	10月22日	有明広域行政事務組合 東部環境センター	東部リサイクルフェスタ2023（UVビーズストラップづくり）	165人	8人
10	10月28日	八代市役所	ものづくり教室（リ・ガラスアート制作体験学習）	52人	6人
11	10月22日	熊本市水の科学館	第2回楽しくエコライフ講座（ものづくり体験）	20人	3人
12	11月25日	尾ノ上小学校PTA	親子で学んで楽しもう！尾ノ上小マルシェ（ブンブンセミ、UVビーズストラップづくり）	115人	8人

○エコロジスト・リーダー登録者（令和6年3月31日現在） 59名

エコロジスト・ジュニアリーダー登録者（令和6年3月31日現在） 1名



(3) 県北環境教育推進事業

●エコアくまもと見学&まじやく釣り体験

期 日 8月11日(土)
実施場所 公共関与産業廃棄物管理型最終処分場
「エコアくまもと」及び
荒尾干潟

参加人数 38人

概 要

公共関与産業廃棄物最終処分場「エコアくまもと」を運営する公益財団法人熊本県環境整備事業団と共催で開催しました。

午前中にエコアくまもとを見学した後、午後に荒尾干潟でまじやく釣り体験を実施しました。参加者には、循環型社会について学び、海の豊かな環境に触れてもらいました。



●お家でできる！防災サバイバル教室

期 日 9月10日(土)

実施場所 肥後民家村

参加人数 21人

概 要

一般社団法人夢・理想の里の協力により、防災に関する教室を開催しました。

午前中は、電気やガスを使わずに段ボールの窯とペットボトルの容器を使って作るピザ作りの体験と、ごみに関する環境学習を行いました。参加者には調理体験を通してごみ問題を身近な問題として実感してもらうことができました。

また、午後からは防災士のしほママこと柳原志保氏にエコ防災ワークショップを実施いただき、家にあるものを再利用したエコな防災術を学びました。



～水俣に学ぶ肥後っ子教室～

水俣に学ぶ肥後っ子教室は、「環境立県くまもと」づくりの担い手である熊本の子どもたちに、水俣病への正しい理解を図り、差別や偏見を許さない心情や態度を育むとともに、環境や環境問題への関心を高め、環境保全や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする態度や能力を育成することを目的に実施しています。

県内全ての公立小学校及び義務教育学校の5年生が、水俣を訪れ、語り部講話や環境学習、まなびの丘に建つ3館（環境省水俣病情報センター、熊本県環境センター、水俣市立水俣病資料館）の施設見学などを行います。

環境学習のテーマは大きく4つ「水環境問題」、「ごみ問題」、「地球温暖化問題」、「SDGsと環境問題」を中心に行っています。それぞれのテーマで体験活動を取り入れ、楽しくわかりやすい学習を心がけています。

令和5年度は、感染防止対策を行った上で、従来の対面型の学習が可能となり、水俣の自然環境に直に触れてもらうことで、次世代を担う子どもたちに環境保全の重要性を伝えることができました。

※水俣に学ぶ肥後っ子教室の利用状況の詳細は、P29カ「小学校団体利用状況」のとおり。



「水俣に学ぶ肥後っ子教室」の様子

(4) 環境保全意識向上事業

●環境絵画コンクール

募集期間 7月～9月

主催 熊本県環境センター、グランメッセ熊本、エコアくまもと

応募点数 2,111点 (111校)

概要

県内の小学生を対象に、環境に関する絵画を募集し、111校から2,111点の作品の応募がありました。

審査の結果、特選12点、入選24点、佳作24点を選定しました。また、入賞作品の60点は「2024くまもとエコカレンダー」などに掲載しました。

<1月> グランメッセ賞



芦北町立内野小学校 1年 長野 百磨
「たこ」

<2月> グランメッセ賞



南阿蘇村立白水小学校 6年 大山 恵生
「夜空」

<3月> エコアくまもと賞



益城町立広安小学校 2年 三浦 大空
「うみのなかでいきる」

<4月> グランメッセ賞



益城町立津森小学校 2年 浅井 瑛仁
「キレイな川であそびたいな」

<5月> エコアくまもと賞



宇土市立宇土小学校 5年 赤星 杏樹
「清流にかがやくホタルの光」

<6月> 環境センター賞



八代市立代陽小学校 3年 國分 彩羽
「しぜんをたいせつに」

〈7月〉 環境センター賞



人吉市立人吉西小学校 1年 山下 茉穂
「ひとよしはなびたいかい」

〈8月〉 エコアくまもと賞



八代市立代陽小学校 4年 藤澤 悠真
「すばらしいしぜん」

〈9月〉 エコアくまもと賞



熊本市立壺川小学校 3年 村上 友亮
「いつまでも守りたいキレイな水と魚」

〈10月〉 再春館製薬所賞



熊本市立白坪小学校 6年 福田 愛美
「10年後の「川」」

〈11月〉 環境センター賞



熊本市立五福小学校 4年 渡邊 莉紗
「オオムラサキが飛ぶ森」

〈12月〉 環境センター賞



熊本市立春竹小学校 5年 村上 穂夏
「大切な資源」

●こどもエコクラブ熊本県事務局

こどもエコクラブの熊本県事務局として、壁新聞コンクールなどを実施しました。
令和5年度の熊本県こどもエコクラブの登録数は以下のとおりです。

また、各市町村の環境担当者に対して、こどもエコクラブの概要と事務手続き、市町村事務局としての活動支援などについて説明しました。

No.	市町村	ク ラ ブ 名	メンバー数	サポーター数
1	熊本市	HIGO ECO がまだせ	6人	2人
2	熊本市	熊本市立菱形小学校 カタプロリーダー会	6人	2人
3	熊本市	熊本市立菱形小学校 緑化ボランティア隊	12人	1人
4	熊本市	東町小 5-1 エコアースクラブ	30人	1人
5	熊本市	東町小 5-2 エコクラブ	25人	1人
6	熊本市	東町小 5-3 エコクラブ	29人	1人
7	八代市	次世代のためにがんばろ会子どもエコクラブ	7人	3人
8	八代市	金子クラブ	2人	2人
9	水俣市	水俣第一小学校	450人	43人
10	玉名市	玉名女子高等学校 社会科同好会	5人	1人
11	宇土市	はなっこクラブ	65人	15人
12	宇土市	宇土市立宇土幼稚園	50人	13人
13	宇土市	肥後っこクラブ	34人	6人
14	上天草市	しいのみっこクラブ	3人	3人
15	上天草市	直江 family	1人	2人
16	天草市	もぐし海のこども園	22人	21人
17	和水町	てとてとて玉名郡&荒尾市ひとり親の会	201人	10人
18	益城町	再春館一本の木キッズクラブ	40人	37人
19	芦北町	芦北町立田浦中学校	79人	16人
20	あさぎり町	岡原小学校 環境委員会	120人	1人
合計 (20クラブ)			1,187人	181人

(5) 施設維持運営事業

○ 企画展示・常設展示

● 企画展示

〈4月〉「春の野の花」写真展

期 日 4月1日(土)～5月7日(日)

概 要

環境センターやその周辺に咲く、草花の写真パネルを展示しました。来館者に身近な環境に興味を持っていただくため、身近にある植物を多くとりあげました。



〈5～6月〉「湧水・地下水・水辺」写真展

期 日 5月11日(木)～6月11日(日)

概 要

熊本県内の湧水や川辺等に関する写真を展示しました。菊池溪谷や鍋ヶ滝(阿蘇郡小国町)など、有名スポットの写真を展示し、美しい風景を楽しんでもらうことで、来館者に水質保全について考えてもらいました。



〈6～7月〉「海のいきもの」写真展

期 日 6月13日(火)～7月30日(日)

概 要

水俣の磯や海中にすむいきもの写真約40点を展示しました。環境センター周辺の海の生物や、そのいきものが擬態している様子など、身近な環境の中にも多くのいきものが生息していることを知ってもらいました。



〈7～9月〉「湯前まんが美術館風刺漫画大賞」作品展

期 日 7月19日(水)～9月3日(日)

概 要

湯前まんが美術館が実施している「那須良輔風刺漫画大賞」の作品の中から環境に関係する作品約20点を展示しました。地球温暖化や海洋プラスチック問題に関する作品を展示し、環境について考えるきっかけにしました。



〈10月〉「手作りエコバッグ」展

期 日 10月3日(火)～10月29日(日)

概 要

レジ袋の unnecessary 消費を減らすため、手作りのエコバッグを展示しました。Tシャツの再利用など様々な工夫により作られたエコバッグ14点を9名の方々から提供いただきました。来館者には様々なエコバッグを楽しみながらレジ袋の削減について考えてもらいました。



〈11月～12月〉「環境絵画コンクール」入賞作品展

期 日 11月25日(土)～12月26日(火)
概 要

「環境絵画コンクール」として作品を募集したところ、県内の小学校111校から2,111点の応募があり、その中から選定した特選12点、入選24点、佳作24点を展示しました。



〈12～1月〉「星空風景」写真展

期 日 12月12日(火)～1月21日(日)
概 要

「さかもと八竜天文台」が大口径の天体望遠鏡で撮影した、惑星や星座、日食、月食等のパネル及び写真を展示しました。来館者の方々には、光害や大気環境問題に触れるきっかけにしてみました。



〈1～2月〉「花王国際こども環境絵画コンテスト」作品展

期 日 1月25日(木)～2月29日(木)
概 要

花王株式会社が、2010年から行っている「花王国際こども環境絵画コンテスト」の入賞作品(レプリカ)を展示しました。世界の子どもたちが身近な生活のエコや地球の環境・未来について真剣に考えて表現した作品を展示し、環境について考えるきっかけにしてみました。



〈3月〉「こどもエコクラブ壁新聞・絵日記」展

期 日 3月5日(火)～3月31日(日)
概 要

県内のこどもエコクラブの環境保全活動の取組をまとめた壁新聞及び絵日記を展示しました。壁新聞5点、絵日記2点の応募があり、最優秀賞1点、優秀賞1点、入賞3点、佳作1点の壁新聞を選定しました。



●常設展示

「環境センターでこんなことができるよ」

環境センターで実施している事業を紹介するとともに、パンフレット類を配架しました。

「熊本の水資源保全」

県内の地下水保全に関する取り組みや名水の情報、水処理の技術に関する情報を展示しました。

「くまエコショップ水俣店」

環境にやさしい買い物について学んでいただくため、くまモンに案内してもらいながら買い物の疑似体験ができるコーナーを設けました。また、併せて資源の循環とフードマイレージに関するパネル展示を行いました。

「やってみよう！おうちでできること」

環境問題に関する学習を踏まえたうえで、各自が家庭でできることを実践してもらうため、3Rなどのごみ減量につながる取組や省エネルギーにつながる製品等を展示しました。

「エコライフ宣言」

県民一人ひとりの生活や各事業所の事業活動の中で、環境にやさしい取組を行うことを宣言するスペース「エコライフ宣言」を設置し、事業の内容に関するパネルを展示しました。

「水俣市のごみ分別」

環境モデル都市づくりを目指す水俣市の取組を紹介するパネルを展示するとともに、「ごみ23分別」の分類を表や実物で紹介しました。

「ミニ水族館」

淡水にすむ魚類のうち、県内に生息する代表的な魚類として、メダカやカワムツなどを展示しました。

また、県内の河川にはカダヤシやミシシippアカミミガメなどの外来種も生息していることなどを紹介しました。

「環境問題パネル」

「PM2.5」や「光化学スモッグ」、「酸性雨」など、環境問題に関連したパネルを展示しました。

「リサイクルギャラリー」

ガラスをリサイクルしたり・グラスアートやトイレットペーパーの芯等を再利用した万華鏡など、環境センターの館内イベントや出前講座「動く環境教室」で制作する作品を展示しました。

「熊本県ジオラマ」

天草地方の御所浦島と鹿児島県の獅子島・長島が見渡せる展望室に、熊本県の地形が立体的にわかるようにジオラマを設置しました。

「こどもエコクラブの紹介」

こどもエコクラブについて紹介するとともに、全国事務局から発行される情報誌を展示しました。また、県内のこどもエコクラブの環境保全活動の取組をまとめた壁新聞を展示しました。

「おたよりコーナー」

環境学習で来館した子どもたちの感想を紹介しました。



熊本の水資源保全



くまエコショップ水俣店



やってみよう！
おうちでできること



水俣市のごみ分別



ミニ水族館

○ 情報プラザの運営

環境問題に関する図書や資料が自由に閲覧できます。また、新聞各紙から環境関連記事のスクラップを行い、図書とともにファイルを並べています。映像資料（DVDやビデオテープ等）に関しては、映像資料リストに整理し、来館者（主に子ども向け）の要望に応じて視聴できるようにしています。

また、環境に関する情報の収集・整理を行い、環境学習のための資料作成を行うとともに、熊本県環境センターのホームページから新着情報および蔵書検索が行えるようデータの管理を行っています。

さらに、廃棄する書籍や雑誌の有効活用のため無料配布を行ったり、月ごとに特集コーナーを設置したりして、より多くの来館者に興味・関心を持ってもらう取組を行っています。

●情報プラザ受付



●環境関連記事のスクラップ掲示



●図書貸出状況（冊数）

	小学生	中学生	一般	エコロジスト	団体貸出	その他	合計
図書 約 11,500 冊	147	24	159	85	360	200	975

●映像資料貸出状況（本数）

	学校	行政機関	企業	その他	合計
映像資料 約 600 本	0	0	0	0	0

○ 来館者への対応

団体に対しては事前の予約をお願いしており、できるだけ環境学習（講話）を受けていただくよう勧めています。令和5年度の来館者数は、34,725人でした。

内訳は、県内の小中学校、他県から修学旅行で訪れた中・高校生、大学生、PTA、幼稚園・保育園（保育所）など、県内外からの様々な団体や一般の来館者となっています。

予約団体の来館前には、環境指導員から連絡を行い、学習内容を詳細に打ち合わせ、来館者の要望に応じることができるよう対応しています。特に来館団体が学校の場合、教育課程を踏まえた対応ができるよう事前事後の学習を含め、担任教師と十分話し合い、当日の学習内容を決定しています。学習は、「水環境」「ごみ問題」「地球温暖化」「環境問題とSDGs」の4つを主要テーマとしています。

その他、予約なしで来館された方々には、可能であれば施設案内を行っています。

※来館者の詳細は、次ページ以降の表のとおり

○ 来館者数

ア 月別来館者数（全数（受付記帳及び未記帳の合計人数））

月	来館者数 (人)	開館日数 (日)	日平均 (人/日)	備考
4月	362	26	-	
5月	1,628	26	-	
6月	4,495	26	-	
7月	3,281	26	126	
8月	1,317	27	-	
9月	4,826	26	-	
10月	5,160	26	198	
11月	3,679	26	142	
12月	2,051	24	85	
1月	495	24	21	
2月	697	25	28	
3月	6,734	27	249	
合計	34,725	309	112	

※「日平均」は小数点以下四捨五入

イ 年度別来館者数（全数（受付記帳及び未記帳の合計人数））

年度	来館者数 (人)	開館日数 (日)	日平均 (人/日)	備考
平成5年度	20,640	186	111	8月20日開館
平成6年度	27,292	307	89	
平成7年度	24,142	308	78	5月13日 来館5万人達成
平成8年度	26,154	305	86	
平成9年度	23,937	306	78	5月10日 来館10万人達成
平成10年度	28,995	309	94	3月21日 来館15万人達成
平成11年度	30,143	308	98	
平成12年度	32,055	307	104	10月25日 来館20万人達成
平成13年度	34,430	307	112	
平成14年度	40,203	306	131	5月10日 来館25万人達成
平成15年度	39,111	307	127	7月16日 来館30万人達成
平成16年度	38,415	306	126	10月28日 来館35万人達成
平成17年度	38,182	305	125	2月28日 来館40万人達成
平成18年度	37,406	308	121	
平成19年度	36,206	309	117	6月27日 来館45万人達成
平成20年度	34,199	308	111	10月29日 来館50万人達成
平成21年度	31,441	307	102	
平成22年度	30,064	308	98	9月15日 来館555,555人達成
平成23年度	32,288	308	105	11月29日 来館60万人達成
平成24年度	32,151	308	104	
平成25年度	34,975	306	114	9月4日 来館65万人達成
平成26年度	30,763	308	100	1月16日 来館70万人達成
平成27年度	34,448	308	112	
平成28年度	32,400	307	106	9月21日 来館75万人達成
平成29年度	34,776	307	113	11月28日 来館80万人達成
平成30年度	32,910	308	107	
令和元年度	29,775	281	106	9月6日 来館85万人達成
令和2年度	2,923	220	13	
令和3年度	5,671	175	32	
令和4年度	27,030	302	90	12月14日 来館90万人達成
令和5年度	34,725	309	112	
合計	937,850	9,154	102	

※「日平均」は小数点以下四捨五入

ウ 居住別来館者数（受付記帳の人数）

（人）

月	県内					月合計
		(水俣市)	九州	その他	(外国)	
4月	144	105	28	82	3	362
5月	1,070	210	251	97	0	1,628
6月	4,160	155	108	72	0	4,495
7月	3,005	99	54	122	1	3,281
8月	799	141	185	185	7	1,317
9月	4,305	88	247	169	17	4,826
10月	4,366	97	601	93	3	5,160
11月	2,854	163	417	175	70	3,679
12月	1,803	71	90	55	32	2,051
1月	245	96	67	83	4	495
2月	283	162	165	75	12	697
3月	5,907	518	210	98	1	6,734
合計	28,941	1,905	2,423	1,306	150	34,725
比率	83.3%	5.5%	7%	3.8%	0.4%	100%

エ 地域別来館者数（受付記帳の人数）

（人）

月	県内					月合計
		(水俣市)	九州	その他	(外国)	
平成5年度	13,604	—	3,779	1,154	—	18,537
平成6年度	15,209	5,614	5,262	2,359	191	22,830
平成7年度	13,857	4,145	4,493	1,641	99	19,991
平成8年度	16,017	5,302	4,991	1,580	152	22,588
平成9年度	13,417	4,457	4,789	1,944	69	20,150
平成10年度	12,486	2,549	4,833	2,186	82	19,505
平成11年度	15,296	2,628	5,007	1,883	102	22,186
平成12年度	16,047	2,608	5,981	3,158	202	25,186
平成13年度	19,193	1,950	6,884	2,458	175	28,535
平成14年度	26,595	2,353	6,546	2,697	180	35,838
平成15年度	25,719	2,072	6,821	2,345	251	34,885
平成16年度	24,805	1,859	6,311	1,802	246	32,918
平成17年度	23,363	2,289	5,775	942	278	30,080
平成18年度	22,497	1,700	5,357	1,474	202	29,328
平成19年度	22,867	1,853	4,357	1,051	235	28,275
平成20年度	21,711	2,051	3,487	1,659	378	26,857
平成21年度	21,400	1,643	3,986	704	162	26,090
平成22年度	20,742	1,110	2,535	970	188	24,247
平成23年度	23,736	955	2,675	419	104	26,830
平成24年度	24,429	901	2,179	308	112	26,916
平成25年度	24,785	1,515	2,466	2,430	1,210	29,681
平成26年度	23,427	1,499	2,315	758	91	26,500
平成27年度	23,317	1,462	1,706	1,220	100	26,243
平成28年度	24,084	1,475	2,032	1,343	299	27,459
平成29年度	26,028	2,082	3,119	952	488	30,099
平成30年度	25,189	2,136	2,808	934	520	28,931
令和元年度	24,382	1,811	1,270	393	155	26,045
令和2年度	2,010	587	209	74	0	2,293
令和3年度	3,748	914	1,389	534	0	5,671
令和4年度	※22,002	2,298	1,870	※839	21	27,030
令和5年度	28,941	1,905	2,423	1,306	150	34,725
合計	620,903	65,723	117,655	43,517	6,442	786,449

※数値の精査により令和4年度熊本県環境センター事業実績報告書から修正

オ 団体利用状況（受付記帳の人数）

団体分類	小学校		中学校		高等学校・大学		教職員・PTA	
	月	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数
4月	0	0	1	20	0	0	0	0
5月	18	646	5	415	0	0	0	0
6月	75	3,581	3	494	0	0	0	0
7月	36	2,280	4	472	0	0	1	10
8月	3	136	3	258	2	61	2	39
9月	61	3,365	13	992	2	39	0	0
10月	72	4,221	3	531	0	0	0	0
11月	45	2,487	4	577	1	14	0	0
12月	23	1,705	0	0	1	16	0	0
1月	8	201	0	0	0	0	0	0
2月	1	29	1	152	2	56	0	0
3月	0	0	1	25	1	30	0	0
合計	342	18,651	38	3,936	9	216	3	49
比率	69.4%	62.0%	7.7%	13.1%	1.8%	0.7%	0.6%	0.2%

団体分類	自治会等		議会・行政機関		その他		総計	
	月	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数
4月	0	0	0	0	3	30	4	50
5月	1	30	5	68	1	110	30	1,269
6月	2	65	2	18	3	57	85	4,215
7月	2	60	5	111	1	20	49	2,953
8月	0	0	8	115	5	129	23	738
9月	0	0	2	46	6	78	84	4,520
10月	2	40	2	32	2	40	81	4,864
11月	5	101	2	30	9	123	66	3,332
12月	1	25	1	8	3	54	29	1,808
1月	0	0	4	10	1	6	13	217
2月	0	0	4	46	7	121	15	404
3月	3	84	4	5,534	5	44	14	5,717
合計	16	405	39	6,018	46	812	493	30,087
比率	3.2%	1.3%	7.9%	20.0%	9.3%	2.7%	100.0%	100.0%

カ 小学校団体利用状況
月別利用状況

月	水俣に学ぶ肥後っ子教室		その他	
	団体数	人数	団体数	人数
4月				
5月	16	461	2	185
6月	71	3,470	4	111
7月	33	2,103	3	177
8月	3	136		
9月	60	3,301	1	64
10月	66	3,656	6	565
11月	41	2,279	4	208
12月	20	1,539	3	166
1月	8	201		
2月	1	29		
3月				
合計	319	17,175	23	1,476

年度別利用状況

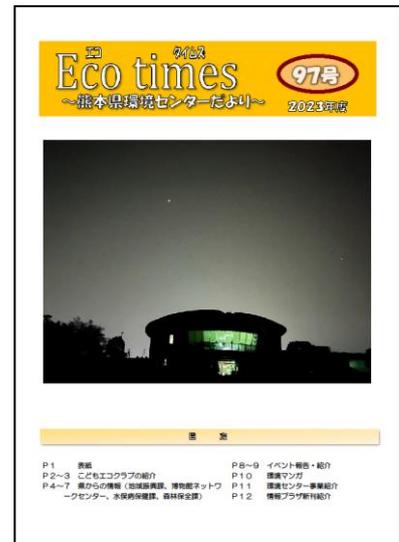
月	水俣に学ぶ肥後っ子教室		その他	
	団体数	人数	団体数	人数
平成14年度	156団体	6,332人	108団体	8,750人
平成15年度	163団体	6,216人	116団体	9,811人
平成16年度	144団体	6,276人	145団体	10,571人
平成17年度	156団体	6,686人	163団体	10,464人
平成18年度	141団体	7,023人	174団体	9,396人
平成19年度	128団体	6,307人	185団体	9,711人
平成20年度	139団体	6,591人	176団体	9,183人
平成21年度	135団体	6,041人	176団体	9,785人
平成22年度	122団体	5,897人	171団体	9,202人
平成23年度	387団体	18,419人	18団体	721人
平成24年度	381団体	18,030人	25団体	1,279人
平成25年度	364団体	17,729人	16団体	923人
平成26年度	357団体	17,352人	17団体	1,023人
平成27年度	360団体	17,370人	8団体	380人
平成28年度	356団体	17,081人	17団体	1,012人
平成29年度	349団体	17,356人	22団体	1,101人
平成30年度	337団体	17,598人	15団体	835人
令和元年度	331団体	17,591人	13団体	787人
令和2年度	0団体	0人	16団体	457人
令和3年度	0団体	0人	16団体	1,022人
令和4年度	327団体	17,534人	23団体	1,049人
令和5年度	319団体	17,175人	23団体	1,476人

※「水俣に学ぶ肥後っ子教室」は、水俣に学ぶ肥後っ子教室事業（旧：こどもエコセミナー事業）の小学校の合計（小学5年生が対象）
「その他」は、水俣に学ぶ肥後っ子教室事業以外の小学校の合計

○ 季刊誌「エコタイムズ」の発行（各 5,700 部）

● 97号

- 表紙
- こどもエコクラブって何だろう？
- 県からの情報：「阿蘇草原応援企業サポーター」を募集しています！
 （地域振興課）
 博物館ネットワークセンターを
 利用してみませんか！
 （博物館ネットワークセンター）
 水俣病犠牲者慰霊式がエコパーク水俣で
 開催されました
 （水俣病保健課）
 熊本県は皆さんの多様で豊かな森づくり
 活動を支援します！
 （森林保全課）
- 環境センターイベント報告
- 環境センターイベント紹介
- エコマンガ：サステナブルに進化するペットボトルと自動販売機
- 環境センター事業紹介
- 情報プラザ（図書コーナー）紹介



● 98号（30周年記念特別号）

- 表紙
- 知事挨拶、館長挨拶、水俣市長挨拶
- こどもエコクラブ活動紹介
- 「令和5年度熊本県環境絵画コンクール」入賞作品の紹介
- 県からの情報：くまもとグリーン農業とは？
 （農業技術課）
 CO2を吸収する森林
 ～『熊本県森林吸収量認証制度』について～
 （森林保全課）
 水俣に学ぶ肥後っ子教室
 （義務教育課）
- 環境センターイベント報告
- エコマンガ：“温活”で冬を元気に乗り切ろう！
- 熊本県環境センターの沿革～これまでの歩み～
- 情報プラザ（図書コーナー）紹介



熊本県環境センター

〒867-0055 熊本県水俣市明神町 55 番 1 号

TEL:0966-62-2000 FAX:0966-62-1212

表紙の写真：環境センター開館 30 周年（「30th」）を記念して撮影

（令和 6 年 1 月 2 6 日撮影）

発行者：熊本県
所属：環境センター
発行年度：令和 6 年度